



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

令和5年(2023年)
5月8日
月曜日
第259号

令和6年4月、島田市・金谷に

ふじのくに国際高校が開校します!!



ポイント

01

時間割が自由!

- 時間割を自分で作るから、登下校の時間も自由!
- ー ゆっくり昼から通学も OK
- ー 授業は午前だけ、午後は他の活動に集中も OK

ポイント

02

制服は無し!

- 自分でふさわしい服装や行動を判断しよう♪
- ー 好きな私服で登校して OK
- ー 校則もシンプルでアルバイトも OK

自由な学校で、
自分だけの高校生活をデザイン!

ポイント

03

国際的な教育も導入!

- 海外大学への受験資格も得られる
国際バカロレア教育の導入を目指して準備中
- ー 希望者はバカロレアの授業を受けられる!! (下を参照)

ポイント

04

進路もバッチリ!

- 探究中心の授業で、変化の激しい時代に
求められる人材を育成!
- ー 地元島田市や静岡大学と連携した充実の探究学習
- ー その成果を活かして就職や大学入試にも対応

● 国際バカロレア (IB) 教育の導入スケジュール (予定)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	開校	IB認定(予定)	IB教育開始			
一期生(現中3)	高1	高2	高3	(高4)	一期生でIBを 希望する場合、 高4までかかる	
二期生(現中2)		高1	高2	高3		
三期生(現中1)			高1	高2	高3	
四期生(現小6)				高1	高2	高3

※青い部分でIBを選択できます。

※国際バカロレア (IB) 教育は、希望者のみが選択します。

ふじのくに国際高校の詳細については、
こちらからご確認いただけます学校紹介
動画▶学校紹介
パンフ▶

学校説明会開催!

日時 5月21日(日)
14時~15時30分参加
無料

会場 夢づくり会館(島田市島550-2)

対象 中学生、保護者、学校関係者

問合せ先 0547-45-4155 (金谷高校)

駐車場完備!
事前申込み不要!
個別相談も実施!

※途中参加・途中退席可能

令和6年4月、小山高等学校内に

御殿場特別支援学校小山分校が開校します!!

県教育委員会では、障害のある人もない人も互いを理解し、同じ地域で共に支え合い育つという「共生・共育」の理念を掲げています。現在、小学校・高等学校に13校の特別支援学校分校を設置しており、令和6年4月に14校目となる御殿場特別支援学校小山分校が開校します。

通学
区域 御殿場市、裾野市及び小山町

生徒数 48人

設置
学部 高等部(知的障害)

【高校教育課・特別支援教育課】

実践NOTE⁵¹⁵

生徒が「学ぶ価値」を実感する単元づくり

～単元で構想するICT活用方法の追究を通して～

磐田市立城山中学校 教諭 萩田 駿

本校では、学校での学びは、生活の中で生きて働く価値あるものにつながるものと捉え、主体的に学ぶ生徒を育成したいと考え、授業づくりに取り組んでいます。

教員が語る「なぜその教科を学ぶのか」

生徒が学ぶ価値を実感するために、この問いに私たち教員が自問自答し、語ることで、学ぶ価値を実感することが必要不可欠であると考えました。まず教員が各教科・単元の魅力を見つけ、社会との関連を考え、学ぶ価値をもつこと。単元末に生徒が価値を実感することができるよう、教科や単元の本質について熟考した「単元を貫く問い」を設定しました。この単元構想図作成方法を全教員と共有し、単元づくりに努めました。



「単元を貫く問い」を軸にした単元構想図

ICTの研究指定を受けて、新たな試みへ

単元づくりにICT活用を取り入れた1年目は、実践例も数多く集まり、教員も生徒もICTに慣れていきました。しかし、実践例が増える一方で、「ICTを活用することが目的になっている」という意見もあり、生徒が学ぶ価値を実感するために、単元を通して効果的なICT活用方法はないのか追究していこうと教員の意識を変えていきました。



実践例をもとにICT活用方法を検討する

「学ぶ価値を実感する単元づくり」×「ICT活用」

活用場面を（個で深める）（協働で深める）（深まりを振り返る）に分

類して考えることで、各教科の単元構想への位置付け方を見出していきました。

さらに、学習内容をタブレットで蓄積していくことにより自分の学びを自覚する授業や、調査し考察した内容をGoogleのmeet機能を活用して直接他県の市役所職員にプレゼンする授業など、教科を学ぶ価値を実感しやすい単元構想が増えてきました。



授業で生徒に問いかける筆者

個で深める	視覚的な情報から知識の定着を目指し、単元のはじめに手本となる動きや技の映像を確認したり、比較したりできるようにする。
協働で深める	録画した映像をペアで確認しながら、アドバイスを送り合う言語化する力を養いながら、アドバイスが記録として残ること、一過性の学習ではなく、次につながる学習にする。
深まりを振り返る	単元のはじめの動画と、単元のおわりの動画を比較することで、技能の伸びを確認する。

保健体育科による各場面におけるICT活用例

学ぶ価値を実感することで生徒が変わる

「学ぶ価値」は、私たち教員が考えているものがすべてではなく、教科の学びを通して、生徒たちが自身の中で見出していく姿も見られました。古典の単元末の振り返りでは「時代を超えて筆者の考えを分かち合い、私たちも思いを未来へ発信していく、それが古典を学ぶ魅力である」と、自分につなげて振り返る生徒もいました。

学ぶ価値を実感した生徒は、更なる課題へと目を向け思考し始めたり、他教科や現実社会について考え、ICTによって学びの可能性をさらに広げていきます。私たち教員は学びの伴走者として、共に学び生徒の主体的な学びを支えていきたいと思っています。

実践NOTE⁵¹⁶

ゼロからのスタートじゃない!!

～幼児教育から小学校教育への架け橋～

伊豆の国市立共和幼稚園 教諭 坂倉由貴子

育ちと学びをつなぐ

小学校へ入学する子どもたちにとって、「見えない・分からない」学校生活は、期待と不安が入り混じっています。

令和4年度当初、隣接する韮山南小学校1年担任教員と共に接続カリキュラムの作成を行いました。育ってほしい10の姿の理解を深めながら、教員間で育ちと学びをつなぐ交流計画を見直したことで、小学校と園児の心の距離を縮めることができました。



幼小教員研修会

ドキドキからワクワクへ

従来の交流活動に捉われず、人や物に主体的に関わる交流として、園児の兄や姉に、小学校がどんなところかを聞きました。すると、授業内容や学校についての手紙が届きました。その手紙を年長児クラスで紹介したところ、子どもたちからも聞いてみたいことや知りたいことが挙がりました。



小学生からの手紙

そこで、交流研修として来園した小学校教員に「図書室に絵本がどのくらいありますか?」「先生は何人いますか?」などの質問に答えてもらい、

他にも小学校で踊っているダンスを教えてもらいました。

その後、子どもたちから「お礼を言いたい」という声が聞かれたので、子どもたちの言葉を手紙にしました。手紙が完成すると、ワクワクが止まらない様子で急ぎ足で渡しに行きました。小学校の先生が喜んでる姿を見た子どもたちは、充実感に溢れていました。



お礼の手紙

キーワードは「つなぐ」

交流体験から小学校が身近な存在になり、入学後の自分のイメージが生まれ、期待と安心感につながりました。「接続カリキュラムの推進」と「育ってほしい10の姿」を手掛かりとした園内研修や交流研修を通して、教員の学びの芽生えに対する捉え方が変わりました。小学校は、ゼロからのスタートではありません。



手紙を渡しました

今後も、幼稚園と小学校の接続期の充実に向け、教育や人がつながることによる連続性と一貫性の視点を持ち続けていきたいと思っています。保護者にも「遊びは学び」につながっていくことも伝えていきたいです。

全ての子どものWell-beingのために ～質の高い 幼児教育を！～

静岡県幼児教育センターは、全ての子どものWell-beingを目指し、質の高い教育を提供できるよう、県内全ての保育者を対象にした研修会の開催や保育研究を行っています。

幼児教育センター研修案内

- 「インクルーシブ保育研修」…………… 7/27(木) 午後
発達特性と支援法に関する知識を学び、特性に応じた効果的な関わり方や、共に育ち合うクラスづくりについて考えます。

講義 「幼児期におけるインクルーシブ保育の在り方とは(仮)」

講師 常葉大学准教授 赤塚 めぐみ 氏

会場 静岡市内(予定)

- 「乳幼児保育研修」…………… 9/1(金) 午後
乳幼児の保育の在り方について理解を深めます。
幼児期への円滑な接続を踏まえ、乳幼児期の保育を考えます。

講義 乳児保育を考える～体と心の主人公になる土台を創る～

講師 あおぞらキンダーガーデン園長 岡村 由紀子 氏

会場 静岡県総合教育センター

- 「幼小接続期の教育・保育研修」… 9/26(火) 午後
「幼保小の架け橋期」の幼児教育と小学校教育との学びのつながりについて理解を深めます。小学校の先生にもお勧めです。

講義 子ども主体の円滑な幼小接続～10の姿をつなぐ～(仮)

講師 静岡福祉大学講師 宮村 典雄 氏

会場 静岡県総合教育センター

Point



研修会には、
小学校、中学校、特別支援学校
の先生方も受講可能です！
是非御参加ください。

全ての研修会を
オンライン配信します。
学校にいながら研修を
受けることもできますよ！



- 「幼児理解研修～エピソード記録と保育」…………… 10/6(金) 終日
記録を元に、幼児理解を深め、環境の再構成や子どもたちへの関わり方等について考えます。

講義 幼児理解につながる子どもの見取りとエピソード記録(仮)

講師 静岡大学教授 田宮 縁 氏

会場 静岡市内(予定)

- 「幼児教育マネジメント研修」…………… 10/27(金) 午後
人材育成や安心・安全な園運営について考える管理職対象の研修です。

講義 保育の質の向上を目指すマネジメントとは(仮)

講師 静岡大学教授 田宮 縁 氏

会場 静岡市内(予定)

研修会の申込みはこちらから▶▶▶

※研修実施日の1ヶ月前まで申込みが可能です。



【義務教育課 幼児教育推進室】

特別支援学校における 1人1台端末活用に関する資料を ホームページにて公開しています！

▼「1人1台端末活用のヒント ～活用例～」

子どもの夢を実現するために、ICTの強みをどのように生かすのか？
実践のヒントとなる活用例を紹介しています。

活用の4観点9項目

活用が想定される障害種

AI意思伝達支援

知 肢 発

アプリ名

朝の会の司会をしたい!!

子どもの願い
「～したい!」

司会の子どもが、朝の会の流れに沿って
こと、会を進めたり、友達の画像に触
呼んだりすることができます。

Keynoteのプレゼンテーション機能を使って、朝の
会のプログラムを作成し、教師が音声を入れておき
ます。

端末でできること
操作方法や手順

健康観察は子どもたちの画像に
音声を貼り付けます。

「Keynote 朝の会」で検索すると、作成方法の
サイトがいくつか出てきます。
朝の会以外の場面でも活用できそうです。

A君の「朝の会の司会をしたい」を
実現させてあげたいな。
ICTをうまく活用できないかな？

こんなことができるんだ！
あの子に試してみようかな。

動画「1人1台端末活用のポイント」

総合教育センターホームページで公開中!

「ICTの強みを生かす」「子どもの夢を実現する」
「段階的に活用を考える」というICT活用の3つの
ポイントについて約15分で説明しています。



【総合教育センター 専門支援部 特別支援課】

「武士のめし」

未来へつなぐ
家康ゆかりの食文化

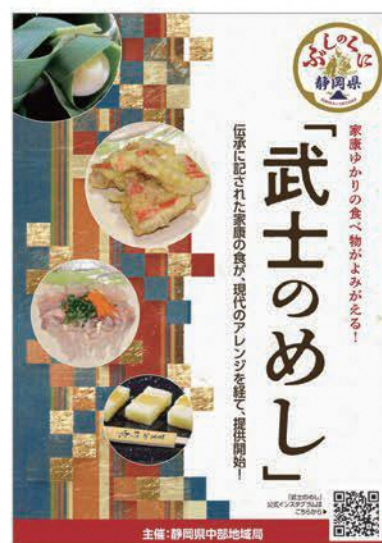
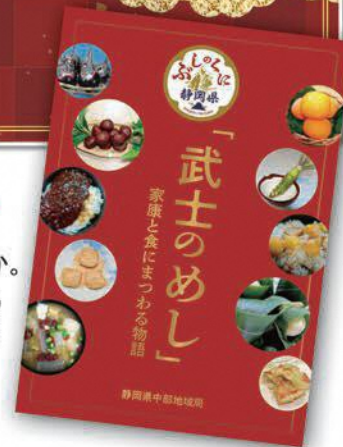
◆ 徳川家康公は何を食べていた？

徳川家康公は何を食べていたのでしょうか。
そして、それは現在の私たちも口にできるも
のなのでしょうか。文献や伝承をもとに、調
査してみました。

◆ 現代にもつながる食文化

調査の結果、35話の物語と26種の食材が判明しました。そこには、梨、
栗、わさび、そうめん、あずき、安倍川もちといった、私たちがなげなく
口にしている食べ物がありました。

私たちと同じ食べ物を、家康公も口にしたことには思いをはせると、地
域の食文化への興味が湧いてきませんか。



◆ よみがえる「武士のめし」

静岡県中部地域局では、コロナ禍
で打撃を受けた飲食店の支援と、地
域の食文化の再発見のため、家康公
が食べた食材を使った料理や菓子を
「武士のめし」として認定し、公式
Instagramに掲載しています。
ぜひ一度、お店に足を運んでみてく
ださい。

Instagramは
こちら



【中部地域局 地域課】

環境学習ポータルサイト

「ふじのくに環境ラボ」を開設しました

地球温暖化などの環境問題に関する学習コンテンツ、学習施設、環境課題に取り組む団体等の情報を見やすくまとめた環境学習ポータルサイト「ふじのくに環境ラボ」を開設しました。同サイトでは、県内のイベント情報や環境学習活動の講師の検索のほか、環境学習コンテンツを通じて静岡県の環境の状況を学ぶことができます。

学校での総合的な学習の時間やご家庭での学習に役立つサイトとなりましたので、是非ご活用ください。

▼トップページ



ふじのくに環境ラボ公式HP
詳しくはこちらへアクセス

▼各分野ごとに県内の状況を学べます



【環境政策課 企画班】

その取組、世界に向けて発信してみませんか？

情報発信のススメ

ホームページ SNS
広報紙 記者提供

皆さんは、普段学校の情報発信をどのようにされていますか？

各学校それぞれに、特色のある素晴らしい取組をしているにも関わらず、脚光を浴びない事例がたびたび見受けられます。

そこで、静岡県教育委員会公式SNSや本紙Eジャーナルしずおか、広報プロジェクトチームを活用してみたいかがでしょうか。

教育政策課では、随時皆さんから広報してほしい情報をお待ちしております。取材に来て欲しい場合も、ぜひご連絡ください。

電話でもメールでもかまいません。気軽にご連絡ください。

●広報PT(プロジェクトチーム)とは？

県教育委員会では、本庁各課の若手職員で広報PTを作り、効果的な広報を行っています。学校等への取材を行ったり、SNSで広報したりと幅広く活動しています。

静岡県教育委員会公式SNS
フォローよろしくお願いします！



県政記者クラブへ
情報提供する方法もあります。

ぜひ教育政策課へお問い合わせください！

●電話番号
054-221-3674
●メール
kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

【教育政策課】

県内の
全高校生に

「静岡県高校生アートラリー」
パンフレットを配布しました。

グランシップでは、県内の公立文化施設と連携し高校生が身近なホールや劇場で多彩な文化芸術に触れられるよう、「静岡県高校生アートラリー」を実施しています。これは、高校生が各ホールで行われる対象公演を鑑賞すると、1ポイントとなり、高校在学中に3ポイント集めると、希望の公演のペアチケットをプレゼントする取組です。高校生の今こそ、「静岡県高校生アートラリー」パンフレットを活用して、日本の伝統芸能や世界の多彩な文化芸術に触れて、多様な価値観や豊かな想像力を育む機会を創りましょう。



【グランシップ】



ご家族そろって、カヌー！そして、海釣り！焼津の海で、楽しい時間を過ごしてみませんか。家族で一緒にカヌーを漕いだり、海釣りを楽しんだりしましょう。家族同士のつながりを深める、レクリエーションも行います。さあ、ご家族で、焼津青少年の家へレッツゴー！

皆様のご参加をお待ちしています！

日時

6月3日(土) 午前10時
～6月4日(日) 午前11時50分

会場

焼津青少年の家 小川港周辺海域
小川港石津南岸壁

定員

全17家族(抽選)

▼焼津青少年の家HPから
お申し込みください。

< 申込み期間 >
(5月2日(火) 正午～
5月10日(水) 午後1時)



【焼津青少年の家】

静岡教弘教育研究実践論文募集

静岡教弘最優秀賞
学校部門 60万円 個人・グループ部門 30万円

2023
8・31

後援 文部科学省 静岡県教育委員会 静岡市教育委員会 浜松市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部

後援 文部科学省 静岡県教育委員会 静岡市教育委員会 浜松市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

2023年8月31日(木) 応募締切

静岡教弘教育研究実践論文募集

静岡教弘最優秀賞

学校部門 60万円/個人・グループ部門 30万円

詳しくはこちらの
リーフレットをご覧ください！



公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部
TEL 054-205-5130

広告